

19-3 自然環境保全【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち1設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 日本の沿岸生態系において生物多様性保全上重要な構成要素である藻場について，以下の問いに答えよ。

藻場とはどのようなハビタットであるかを示し，どのようなタイプがあるか，簡潔に述べよ。また，藻場の生物多様性保全上の機能を述べ，減少要因を示せ。

Ⅱ-1-2 愛知目標について説明せよ。また，愛知目標の達成に向けた我が国における取組について述べよ。

Ⅱ-1-3 生物多様性の持続可能な利用に資する仕組みとして森林認証制度がある。森林認証制度の目的，制度の概要と主な認証団体，認証に際し審査される観点について述べよ。

Ⅱ-1-4 自然環境保全地域と自然公園の特性の違いがわかるように，それぞれの制度について述べよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 絶滅のおそれのある種などの保全に関し，「生息域内保全」と「生息域外保全（野生復帰を含む）」という方策がある。あなたが，野生生物保全等の担当者として絶滅のおそれのある種の保全に関し，生息域外保全を含めた対策を計画することを想定し，下記の内容について記述せよ。

- （１）生息域外保全の特徴を踏まえ，調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）事業を進める手順について，生息域外保全の観点から留意すべき点，工夫すべき点を述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者等との調整方策について述べよ。

Ⅱ－２－２ 自然公園地域において，自然資源の保全や利用の安全性・快適性を確保するために必要な費用の一部について，利用者からの負担を求める具体的方法を検討することとなった。この業務を担当責任者として進めるに当たり，下記の内容について記述せよ。なお，当該地域は，自然公園の利用により一定の観光収入が得られており，これまで入域料による利用者負担は求めている。

- （１）調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- （２）業務を進める手順について，留意すべき点，工夫を要する点を含めて述べよ。
- （３）業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

19-3 自然環境保全【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1，Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 2007年，エコツーリズム推進法が制定され，エコツーリズムを通じて我が国の自然環境を保全し，観光振興等を図る総合的な枠組みが定められた。このエコツーリズム推進法を活用し，地域のエコツーリズムの推進に担当者として取組むことになった。以下の問いに答えよ。

- (1) エコツーリズム推進法に基づくエコツーリズム推進協議会の形成，並びにエコツーリズム推進全体構想の作成に当たり，技術者としての立場で多面的な観点から複数の課題を抽出し分析せよ。
- (2) (1) で抽出した課題のうち重要と考える課題を2つ程度挙げ，それぞれの課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) (2) で示した解決策に生じうるリスクとそれへの対策について述べよ。

Ⅲ-2 「生物多様性国家戦略2012-2020」においては，生物多様性を社会に浸透させることが生物多様性施策の基本戦略の1つに挙げられ，地方自治体による地域戦略の策定を促進することが示されている。このような状況において，以下の問いに答えよ。

- (1) ある市町村において，豊かな自然の恵みを地域資源として活用し地域産業の活性化に繋げる生物多様性地域戦略を策定するに当たり，技術者の立場で多面的な観点から課題を抽出し分析せよ。
- (2) (1) で抽出した課題のうちあなたが最も重要と考える課題を1つ選択し，その課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) (2) で提示した解決策において新たに生じうるリスクとそれへの対策について述べよ。